

羽田空港跡地 「成長戦略拠点」の形成

平成26年9月8日(月)

大田区

羽田空港跡地のまちづくり

空港跡地を『成長戦略拠点』に

平成32年に概成予定 平成22年計画策定 国土交通省、東京都、大田区

第1ゾーン【約20ha】

- 産業交流施設
- 多目的広場エリア
- 駅前広場

第3ゾーン【約17ha】

- 空港関連機能エリア

国際線旅客ターミナルビル

天空橋駅
(京浜急行羽田線)
(東京モノレール)

第2ゾーン【約17ha】

- エアポートホテル・複合業務施設エリア

多摩川

殿町区域(川崎市)【約40ha】

2020年 官民連携により

日本と海外の企業・人材を結ぶ「成長戦略拠点」を形成

理念

- 【市場開拓】日本の工業・農業・水産業・畜産業等を対象に、海外を視野に入れた市場開拓を図る
- 【中小企業】成長分野への中小企業の参入を促進し、世界で戦える担い手の拡大を図る
- 【地域資源】クールジャパンといわれる日本の魅力を集積し、海外に発信する

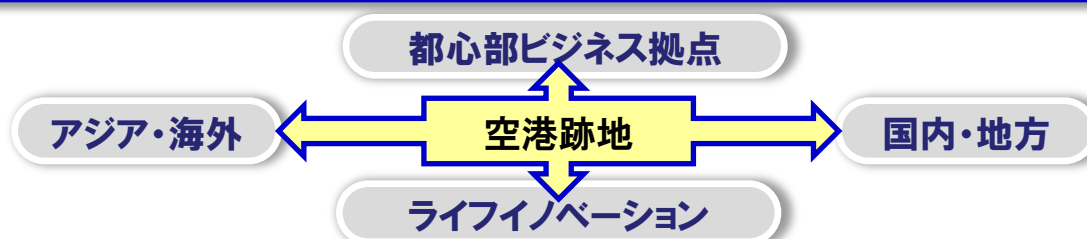
「成長戦略拠点」の機能

- 医療・健康など成長産業分野をリードする企業の研究開発部門を集積し、ビジネスマッチングや相互連携によりイノベーションを産み出す環境整備
- 海外企業の対日投資を呼び込むため、創業準備・初期段階でのオフィス提供や各種手続きを支援
- 全国の選りすぐり、ホンモノの農産品等を集積し、クールジャパンのショールームを展開
- 羽田空港とつながる国内50都市の地域資源を、訪日外国人に新鮮な状態で提供
- 日本の食を楽しみ、技を知る空間を演出し、来訪者が日本各地を訪れるきっかけを提供

効果

- 【国際ビジネス】世界で一番ビジネスのしやすい環境の整備に寄与し、国際競争力を強化する
 - ・海外企業の初期ビジネス環境を整備することにより、対日投資の裾野を拡大
 - ・誘致した海外企業と国内中小企業とのコラボにより、新技術・新サービスを創出
- 【地方創生】羽田空港を活用し、地域産業の振興や観光誘致による地方活性化を図る
 - ・高付加価値化、輸出促進に資する取り組みにより、農水畜産物の成長産業化に貢献
 - ・世界が楽しむ地方の魅力を発信することにより、地方への誘客増と雇用増に寄与

相乗効果イメージ



空港跡地の成長戦略拠点～「国内と海外とをつなぐ産業交流施設」を整備～ 新たな成長エンジンと地域の支え手となる産業の育成

国内企業

国内市場

ビジネスマッチング

地域と世界をつなぐ産業ハブ拠点の形成

機能

- ・ 研究開発
- ・ 創業支援
- ・ ビジネス環境
- ・ 技術革新



クールジャパン発信

世界を惹きつける
「和のおもてなしエントランス」の形成

機能

- ・ 日本各地の文化を消費・体験
- ・ 日本各地の物産の免税販売
- ・ 訪日外国人向け
インフォメーション



海外企業

海外市場

羽田空港：国内50都市・世界25都市とのネットワーク、世界有数の「ひと・もの・金・情報」の結節点

研究開発

医療・福祉をはじめとする成長産業において、各分野をリードする研究開発型企業を集積させ、新製品・新サービスを創出。

工・農・水・畜等の分野における新たな産業ムーブメントをこの地から発信。

創業支援

国内外から起業家を集積させ、新たなビジネス創出と次世代産業の担い手を創出。

創業準備から上場までの一貫支援体制により、我が国の創業率向上に寄与。

ビジネス環境

利便性を最大限活用できる場にオフィス環境を整備。国内外から企業を誘致し、日本及びアジアにおける活動拠点ならびに地方と東京をつなぐ拠点として活用してもらい、経済活動の活発化を図る。

技術革新

ものづくりとICT・デザインを融合させる最先端機器を備えた拠点を整備。

我が国のものづくり技術の向上とイノベーションの促進を図るとともに、これからの時代に対応した人材の育成につなげる。

活動に必要な各種支援サービス（資金調達・経営支援・情報発信・マッチング機能）拠点も同時に整備

ソフト・ハード両面の支援機能を有機的に提供する体制を整備。羽田の立地優位性を最大限生かし、地域と世界をつなぐビジネス拠点を形成
新たなビジネスの潮流と次世代人材の育成を図り、我が国の国際競争力を高めていく

世界に向けて、日本各地の「歴史」、「文化」、「食」、「技術」、「場所」、「ヒト」を発信

日本各地の文化を消費・体験

ジャパン・ブランドの発信

体験・体感工房

国内各地の魅力に五感で触れる



地域の魅力が海外に伝播



日本各地の物産を免税販売

免税ストリート

マルシェ

高品質な国産品を紹介



日本での旅行消費を増加



訪日外国人向けインフォメーション

Wi-Fi環境

公共機関利用案内

まちの歩き方

飲食店利用ガイド

訪日外国人の観光をサポート



訪日旅行の促進



大田区による「クールジャパン」発信拠点形成に係る調査結果(平成25年度)

- 全国約320団体にアンケート調査を実施
- 送付先は都道府県、政令市、空港所在自治体、民間団体・企業など
- 回収率:約5割、そのうち9割が「興味あり」と回答

羽田空港周辺・京浜臨海部における交通インフラの必要性

課題

- 羽田空港と京浜三港を核とした京浜臨海部は、**空・海・陸の交通・物流ネットワークに対応するインフラの整備が喫緊の課題**となっている。
- 空港が持つポテンシャルを最大限に活用し、首都圏の国際競争力の向上に資する**道路・鉄道等の交通ネットワークを拡充する必要**がある。

広域交通ネットワークの形成

京浜臨海部における道路ネットワークの整備 【国道357号の延伸整備】

京浜臨海部は、羽田空港と京浜三港を擁することから首都圏の重要な東京湾岸交通網の一翼をなしている。
(国道357号は、東京・神奈川の臨海部における広域ネットワークの根幹)

国道357号の多摩川トンネル以南の早期延伸整備

国際物流貨物の増大や京浜三港連携に対応する首都圏臨海部の広域道路ネットワークの形成

- 羽田空港へのアクセス強化
- 京浜三港の連携促進
- ものづくり産業の連携や物流機能の向上
- 臨海部の交通流の改善・周辺環境への負荷低減
- 災害発生時における都市機能の維持・防災機能の強化

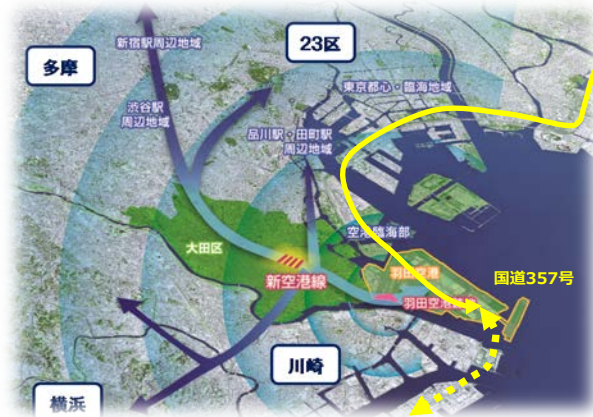
鉄道ネットワークの整備 【新空港線の整備促進】

新空港線は、JR・東急蒲田駅と京急蒲田駅をつなぐ路線で、運輸政策審議会答申第18号において、目標年次（2015年：平成27年）までに整備着手することが適当である路線（A2）と位置づけられた路線である。

新空港線の整備促進

羽田空港～蒲田～渋谷～新宿三丁目～池袋～東京西部を結ぶ広域交通軸を形成

- 羽田空港と都心・副都心間のアクセス強化
- 広域交通ネットワークの形成
- 各方面への乗り換えが便利に
- 移動利便性の向上 ● まちづくりへの寄与
- 緊急時の迂回ルートの確保



今後の課題～スピード感をもって事業を推進するために～

羽田空港跡地の機能充実

- 国・自治体・民間など多様な主体の参画

施設を支える基盤インフラの整備

- ライフライン事業者、交通・河川の管理者等多様な関係者との調整・協議

